

平成24年度  
実施事業

事務事業名 登別市個別排水処理施設整備事業

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	3	生活排水の適正な処理
小分類	2	合併浄化槽の普及
主要な施策	1	①個別排水処理施設の整備
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 16 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別

部名 都市整備部 グループ名 下水道グループ

事務事業の概要 《Plan・Do》

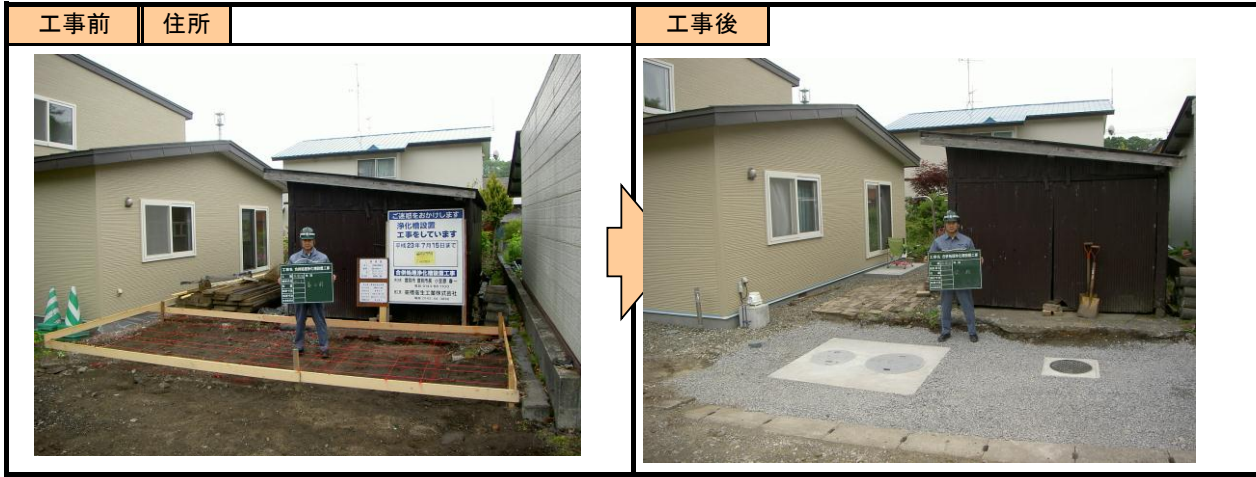
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	公共下水道の整備区域以外の地域について、生活雑排水等の処理を促進することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	対象地域：公共下水道整備区域外 対象となる建物：専用住宅、店舗併用住宅、共同住宅、事務所 (別荘、公営住宅、公共施設は除く) 事業内容：浄化槽を市が設置し、設置工事費用の1割、電気料、使用料を使用者が負担し、設置工事費の9割、浄化槽の点検や故障対応などの維持管理費を市が負担する。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	設置年度 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 設置数 14 11 7 4 4 4 4 6 2 合計56基設置
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	浄化槽法、登別市個別排水処理施設条例、登別市個別排水処理施設条例施行規則

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円	5,900	1,700	10,400	10,400	10,400
その他	名称	千円	668	610	778	778	778
一般財源	名称	千円	877		1,422	1,422	1,422
事業費 合計			7,445	2,310	12,600	12,600	12,600

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 浄化槽設置数		目標値	10	10	10	10	10
			実績値	6	2			
	②		目標値					
			実績値					



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 公共下水道整備区域以外の地域において、浄化槽を設置することによって、公衆衛生が向上し、あわせて公共用水域の水質が保全されるため妥当です。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 意識調査の結果から、水洗化の要望がある。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 点在した家屋の集落の場合は、集合処理を行うよりも個別排水処理施設のほうが低廉に整備することができるため有利であり、設置希望者に対し、個別に対応できることが事業としてメリットがあるため当該事業がもっとも効率的な事業である。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 整備件数が着実に増加しているため、成果が上がっていると考えている。

①担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	市が事業主体となり、事業を進めることによって、公共下水道整備区域以外の地域において、浄化槽の設置が促進され、その周辺地域の公衆衛生が向上し、あわせて公共用水域の水質が保全されることから、今後も維持すべき事業である。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--

③総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--

〔評価区分〕

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施箇所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）